

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）レポート2016」（案） の主なポイントについて

1. ワーク・ライフ・バランスに関する取組

（1）継続就業の促進

- ①女性の継続就業の動向と課題（第39 回権丈委員提出資料より）（P63-67, P163-167）
- ②高年齢者の継続就業の支援・促進（P67-68）
- ③柔軟な働き方（在宅勤務等）の推進のための取組
 - ・テレワーク等の推進（KPI、テレワークの推進体制の強化等）【国】（P60-62, P184）
 - ・柔軟な働き方（在宅勤務等）の取組事例【企業・団体】（P28-30）
- ④男性の子育て等参加の支援・促進
 - ・男性の家事・育児参加の好事例【地方公共団体】（P86-87）
 - ・男性の家事・育児等参加の支援等【国】（P69）
- ⑤企業における転勤の実態に関する調査等（P26-27, P184）

（2）働き方改革の推進

- ①働き方改革実現会議の動きについて（長時間労働の是正、高齢者の就業等）（P51, P173-174）
- ②長時間労働の是正のための取組等（36 協定の再検討、法執行の強化、過労死防止対策白書等）（P57-59, P179-180）
- ③地域働き方支援チームによる支援（P58, P180-181）
- ④経済4 団体及び業界団体の「経営トップによる働き方改革宣言」（P13-14）

（3）公共調達を活用したワーク・ライフ・バランス等推進企業の加点評価等の取組状況【国、地方公共団体】（P45, P83）

（4）男女共同参画社会に関する世論調査（仕事と生活の調和等に関する意識について）（P90-91）

2. 2016 年度における数値目標の分析・評価（第1章、第3章関連）

（1）進捗状況の把握・評価（「行動指針」の数値目標13 項目18 指標の進捗状況。）（P94-96）

- ・「順調に進捗」：6 指標（3 指標）
- ・「順調ではないものの進捗」：9 指標（11 指標）
- ・「進捗していない」：3 指標（4 指標）

※（ ）内は、2015 の進捗状況

※「順調ではないものの進捗」のうち2 指標は、最新値の更新がなく、昨年度と同評価。

（2）各種指標の主な推移

- ・就業率については、20 歳～64 歳、20～34 歳、25～44 歳女性、60～64 歳の各層で順調に進捗。
- ・第1 子出産前後の女性の継続就業率は、これまで4 割前後で推移してきたが、2010～14 年では53.1%へ上昇。